

平成29年9月11日（第2日）

開議 13時00分

○5番 竹内 利一君

通告に従いまして質問をさせていただきます。

まず、鞍手町の未来像についてということで、私が平成7年に初め議員をさせてもらったときに、先輩議員から最初に教えられたことがあります。

貴方、議員になったら最低でも10年先を考えろというようなことを言われました。今は10年先を考えても短すぎて、20年30年先を考えなくてはいけないような早い時代になっています。

そこで質問しますが、今後10年、20年、30年先の鞍手町の未来像をどのように考えられているのかというところを町長にお聞きします。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

非常に難しい質問でございます。何度かここで私がいろいろ申したかと思いますが、10年、20年、30年先を見据えるにあたってですが。

一つは、この町というのは6年前にインターチェンジが開通をいたしました。ここ最近大きく目立って人の流れ、そして車の流れというのが大きく変わって来ているということを感じております。

いま、北九鞍手夢大橋に繋がっていた道が曲がっていますが、あれが工事に入っています。後1年半ぐらいには真っ直ぐになるかと思えます。あれが真っ直ぐ来まして西川の方に、新北の方に行っているこれが東西線になります。

そして本村から来ましたインターチェンジがありまして、インターチェンジを過ぎましてずっと来まして、今100円ショップのダイソーさんがありますが、あそこがTの字になっています。そこが工事にも係っておりますが猪倉の方に真っ直ぐバイパスが建設されています。これも向こう3年の内には何とか道路が繋がるのではないかと、そのような計画でやっています。これが町の南北線にあたります。この東西線と南北線が言うなれば鞍手町の大きな大動脈になるわけでございます。

私が言うまでもなく、先程言いましたように車が今遠賀町、そして宗像の北東の辺りから、そして遠賀町、水巻町、八幡西区、中間市、直方市、ややもすると小竹の辺りから車がどんどん流入をいたしております。

最近に至りましては、建て売りの建設業者さんが家を建てれば直ぐに売れると、それも何処から移り住まわれて来ているのかと言いましたら、中間や北九州市八幡西区の方面から移り住まわれていると聞き及んでおります。

社人研の人口動態調査では2040年には人口がずっと減って、福岡県でもワーストワン、

一番悪い状況になるということのデータが出ておりましたが、あれはあくまで机上のデータだと私は思っております。

いま現在全然そういうふうな兆候は見られませんし、逆に今人口は下げ止まって来て、逆にV字回復の方向に向かっているのではないかとそのように感じております。

それと今後鞍手を発展させる意味合いにおいて重要なことがございます。これは私がここで言うまでもなく鞍手町の財政録指数は、平成24年から26年では0.44であります。1でプラスマイナス0です。つまり町の財源が1で地方交付税を貰わなくなるというような状況になるのです。

これは26年までですから27年から29年度にかけてはおそらく0.45から0.46ぐらい、少し景気が良くなっておりますし、税収も上がっておりますので上向きになっているのではないかと、そのように認識をいたしております。

ただ、この財政録指数というのは、町が頑張って、頑張って、頑張っても、例えばこの財政録指数が0.8になったとしましょう。それでも結局は1に達していないものですから地方交付税を貰う対象になるのです。ということは国からすれば、つまり地方更正をやっている自治体というのは先ずはプラスマイナス0、1になるまではどんなに頑張ったってその頑張った分の4分の1、25%しか町に反映出来ませんよという、これが今の行財政の仕組みになっているのです。仮に0.5としましても、まだ半分の2分1足りないわけにあります。

これを1に持って行くというのは、本当に至難の業だと、この地方行政においては至難の業だとそのように思っております。

もう1点は、これは国レベルの話になるのですが、例えば鞍手町はたくさんこれだけ土地があるではないかとおっしゃる方がおられます。今現在もいろいろな所から工場を建てたいとか、住宅を建てたいからというようなオハがいろいろなところから沢山まいっております。ところが用途地域、都市計画法に則った用途地域の設定がいま現在まだまだ国の、農審に至っては国の管轄、そして例えば大店法とかに至っては県の管轄になっております。と言いますと、要は町でいくら何をやろうと思っても上部行政の判断に委ねられて動かなければいけないというのが今の現状かと思っております。

ですから、これは何とか打破をしないとなかなか町民に対して目に見えた形での根茎といえますか、そういったのがなかなか厳しいというのがまず現状だと思っております。

しかしながら、とは言っても100%駄目だということではございません。中には無指定のところもあれば、いろいろ知恵を出せばいろいろな部分がございます。そういう部分においてはしっかりとこれから取り組んで行って、将来に繋げて行きたいとそのように考えております。第I段階はそういう段階でよろしいでしょうか。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

先日私は県庁に行きまして、大規模、例えば30万坪ぐらいの開発をしたいというような

話を県庁に行って話をしました。そうすると、まずは町に総合計画に載せてくれという話をされました。というのが例えばインターチェンジ周辺開発というのは総合計画に載っています。そういう総合計画に載ったものに関しては、県としては許可を下ろせません。

例えば、大きなものがどかっと来るというような時には、総合計画の中に載っていないければ県は許可を下ろせないのです。

私は、先日いろいろなことで、あるところから署名を出しましたが大規模開発は、まず総合計画の中に載せてもらわないと県が許可を下ろせないのです。

そういうところを踏まえて今後もしいろいろな大きな事業展開が来るような話しになった時に、町長としてはそういうものに対してどういうふうに対応して行かれるかお伺いします。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

貴重なご意見ありがとうございます。

いま議員さんがおっしゃいましたように、用途地域に関してもそうですが、内のちゃんとした都市計画をきちっと作らないといけないかと思っております。

平成28年から平成36年までの9年間の基本計画というのは作っております。今のところは、これが4年間の前期基本計画になっております。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

前期4年間の計画と、見直しが可能なのかどうかということをお願いします。

○議長 星 正彦君

政策推進課長。

○政策推進課長 三戸 公則君

総合計画につきましては、基本構想の部分につきましては議会の議決要件になっております。見直すということであれば、まず内容を見直して総合計画の審議会の方にお諮りして、そして議会の議決を経るという流れになると思います。以上です。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

不可能ではないということですね。何でこんなことを聞きましたかということ、やはり10年、20年、30年後を考えると、これからどんなものが鞍手町に押し寄せてくるか、例えばインターチェンジがあるLラインがTの字が猪倉まで繋がって夢大橋に繋がる、そういうものでどんどん開発して行こうと、2040年には社人研の発表では福岡県の中で消滅都市一番で1万260何人と、町が考えているのは1万2千人ぐらいを、その頃は確保したいということで動かれています。

大規模な開発等が鞍手町にもし来るようなことがあれば早々にも総合計画を見直して、どんどん進めていただいて2040年には2万人、2万5千人になるような町にしていきたいと思いますが、その辺町長はどのように思いますか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

今いろいろと民間さんレベル、そして我々行政レベルで開発をいろいろなところを手掛けようとしております。こういったことが、おそらくここ6～7年以内には花が咲いて来れば当然のことながら人口の下げ止まり、そして人口が逆に回復して来るのではないかなと私はそのように考えております。

もう一つ、教育もそうですが、一つは雇用ですね。若い方の雇用を生み出す場がないからやはり出て行かれていますのが大きい原因ではないかとそのようにも考えております。そういった意味においては子育ての支援型住宅、これは官民一緒になって支援住宅などを今後作って行かなければいけないのではないかとか、インターの横の開発はいま順調に進んでおりますが、そこが進みまして、丁度小さな小山がありますが、あそこのインターの横の裏横の山ですが、あの裏手は直方市になります。あれからずっと開発が進んで行った場合には、竹内議員さんが一生懸命されております新幹線筑豊駅なども不可能ではないかと考えております。

そういったものが上手く行けば鞍手町の人口も社人研のいっているのと違反する結果になって来るのではないかとそのように思っております。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

とにかく鞍手町を今後どんどん発展させていただくためにも行政の協力も必要になって来ますので、後は民間の力をどんどん取り入れて、今後20年、30年後には、消滅都市でなく発展都市1番になったねと言われるぐらいの町づくり励んでいただきたいと思います。以上でございます。

次に、くらて病院について。

くらて病院の現在から未来はというように考えられているかということですが、先程少し質問が出ましたが、私は両方の話を聞いてからの判断ではないかなと思っております。

私はくらて病院の現在から未来にかけてということで質問することでいろいろ考えていましたが、これはホームページの八代先生の院長ご挨拶ということでホームページに載っています。

平成25年4月より非公務員型の地方独立行政法人くらて病院へ経営移行いたしました。診療科は、内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻科、泌尿科等と、一般病棟100床、包括ケア病棟22床、回復リハビリ60床、療養型病棟40床を有するケアミックス型の病院です。老人施設も鞍寿の里60床を併設しております。

そういうことで書かれておりました、当院の位置する地域は高齢者が多く、生活習慣病・慢性疾患に対する診療が地域の大きなニーズでありますというようなことで、我々に与えられた使命は、全人的・包括的な医療の地域拠点病院として機能することであると考えています。

この観点から、ケアミックス型の当施設は連続した医療・介護サービスを提供することができ、患者様には安心して利用していただける施設ではないかと考えております。

我々は、独立行政法人制度のもとで弾力的な病院運営を実践し、地域住民の疾病予防・早期発見・治療・アフターケアを充実させ、与えられた使命が十二分に果たせるべく日々努力いたす所存であります、というふうにホームページに院長先生の挨拶が書いてあります。

先程もちらって出ていましたが、私は病院に用事があって行きました。入って直ぐの所に新聞大くらいの大きな立て看板がありまして、ここに書いてあるのを見てびっくりしました。ちょっと読ませていただきます。

患者様へお知らせ

平素は当院をご利用いただき誠にありがとうございます。

この度、諸般の事情から、来年3月末をもって内科医6名が辞職することとなりました。

現在後任医師の招聘を急いでいるところではありますが、医療界の事情から早急に医師の確保は困難を伴うのが実情です。よって、来年4月には医師不足が予想され、皆様の医療に支障をきたす可能性が高いと考えます。したがって、皆様の疾病管理の安全性を確保するため、外来患者様には近隣の医院・病院を紹介させていただきたいと思っております。どの施設で診療を受けるかなど、具体的なことは主治医とご相談いただくようお願いいたします。

当院をご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、このような事情でありますので何卒ご理解をいただきますようお願いいたします。今後も可及的早急に医師の確保・充足を図ってまいります。医師充足のおりには、また、皆様のケアをさせていただきたいと思っておりますので、その節はどうか当院をご利用下さいますようお願いいたします。

平成29年 病院長 八代晃

これは入って直ぐのところに立ててありました。

こういうのを見て現状から未来へという質問をしようと思っているのですが、現在がこういうふうになって、先程も岡崎議員が質問をされていましたが、未来まで考えたいのですが町長これに対してどう思われますか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

私もこの文章は病院の所に貼っているということで。たまたま私の知り合いの患者さんがお医者さんから同じビラをいただいて私は拝借して来たのですが、正直いったなぜこういうふうにお医者さんがなったのかというのは、正直私は分かり兼ねています。

以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

私は最初に言ったように両方の話を聞いて自分で判断しますので、ここでどちらが悪いとかというのは考えていません。

私は聞きたい現在はそういうふうな答えであるのでしたら未来のことを考えてたいのです。今のことばかり言ったってしょうがないので、未来的に町長は新病院を建てるというときに語られていたことがあります。

こういうふうな病院を作っていきたいということを言われていました。それをもう一度聞かせていただけますか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

まずは基本的には、くらで病院は独立行政法人で、今竹内議員おっしゃいました平成25年の4月から独立行政法人化にして独立しております。

運営は運営委員会によって計画がなされております。本来私がここでどうします、こうしますと言うのは本当は独立性を重んじると如何なものかなとそのように思っております。

設置者は鞍手町になっております。鞍手町の代表として言えることは、医療は日進月歩であります。町民の皆さんに最新の高度医療をやりたい、それからホスピタリティにとんだ接遇を望んでおります。

また、患者さんに不安を与えないような院内環境をやっていただきたい等々を目指して行かなければならないことが沢山ございます。

当然のことではありますが、町立から独立行政法人にしたのは収益を鑑み、独法したと聞いて、私が町長をさせて頂きました時には独法の議決がなされて、丁度なっていた状況でございましたので、これは前の柴田町長から聞いておりましたが、まだまだ収益に至っては今のところ思わしくないということでもあります。

私が言うまでもなく利益の上がない法人は存続不可能なんですね。よって、場合によっては地方独立行政法人法の第1条から第3条、並びに第14条第121条を適用し、設立団体の長として病院に対し改善を要求することもあるかも知れません。

但し、私としては病院の収益が上がり、その利益を町に還元をし、教育や老人福祉に使いたいとそのように考えております。

将来的には、議会で何度か申したと思いますが、ワンストップホスピタルプロジェクトOSH P、つまり鞍手町に来れば医療面では全て賄える病院を目指して行きたいとそのように考えております。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

未来的には、この辺でトップを飾れるような総合的な病院を作りたいというのが、折角今からつくるのでしたらそれが本音だと思います。その本音は当然夢を語っていただくのはいいのですが、今の現状は先生が足りないというようなところでちょっと危ぐするところがあります。

今後病院の問題はどうなる、こうなるではなくて、町長としてお医者さんの確保、当然設立者としてはその辺足りないとなると経営が成り立たなくなるので、お医者さんの確保も考えなくてはいけないのではないかというふうに思いますが、現在は居られますから水面下で動いておられるのかどうか分かりませんが、こうやって確保していますよというような答えは出ないと思いますが、その辺言える範囲でお願いします。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

先程も申しましたように、これは独立行政法人になっていますので基本的には、運営は病院さいどでやっていただくというのが主眼だと私はそのように思っております。

ただ何か皆さん方は誤解されている、先程一番最初に質問された議員さんの内容を聞いておりましたが、何か病院でごたごたが起きているような印象を持たれて、何か誤解をされているような感じがしてなりません。

病院で看護部長から、今の病院の状況を聞いた限りの話では、お医者さんが来年辞められる方がおられると、だからお医者さんの確保に奔走しなければいけないということを私は伺っているだけであります。

要は、対処療法といたしましては、風邪を引けば当然熱が出て喉が痛ければ痛み止めを飲んで、熱が出れば解熱剤を飲む、対処療法なんでしょうけれども、これと同じように対処療法を今病院としてはたんと事務的に、私は病院再度で対処療法でやっていただければ事足りることはないかなと、つまりお医者さんが足りなければ、いま竹内議員さんがおっしゃいましたように、病院の内部で、いま新理事長さんが居られますので理事長さんを筆頭にお医者さんの確保に努められるべきでだと私はそのように考えております。

以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

折角病院を新しく建てようとしているのですから、やはり良い病院を作って欲しい。60億か65億か幾ら係るか分かりませんが、無くするのは簡単と思いますが、せっかく作るという方針で動いていますので、設計費も予算を組んでいますし、だから今後いろいろなことがないように良い病院を今後作って行くためにも皆さんにご協力をお願いしたいと私は思っ

ております。

こんな小さな町で60何億も掛けて病院を作ろうとかはまずあり得ない。それを折角過疎債を使ってやろうとしているのですから、皆さんが一致団結して協力をしていただいて良い病院を作って欲しいと私は思います。

これは、未来に向けてどのように考えているかということで、私はそういうふうに思っています。現在がどうこうでなく、未来はこうなるのだという先を見ていけば今のことなどは小さいのです。失礼なことかも知れませんが、未来を考えればもっと良いものを作っていかなければというところで考えていただきたいと私はそう思っております。

町長はどのように思われていますか。

○議長 星 正彦君

町長。

○町長 徳島 眞次君

貴重なご意見ありがとうございます。

私も竹内議員さんと全く考え方は基本的には一緒であります。当然病院を建てるにあたってはより良いものを建てたいという思いで前向きに、行政の方でも後押しをしている状況化であります。以上でございます。

○議長 星 正彦君

竹内利一君。

○5番 竹内 利一君

とにかく良い病院を作ってもらえるように、回りにないような、くらて病院にわざわざ来てくれるような病院を皆さんで作って行って欲しいと思います。それが私の希望ですのでよろしく願いいたします。

○議長 星 正彦君

以上で竹内利一君の質問を終了します。